

電子ウエルダー

取扱説明書 T-150



T-150

この度は、当社製品をお買上げ下さいまして誠にありがとうございます。本機はきっと貴方のお仕事のお役に立つものと確信致しております。

ご使用前に必ず本取扱説明書をよくご覧の上、適切な取扱をして能率を上げ末永くご使用下さいますようお願いいたします。

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

■特 長

- 12Vバッテリー2個と100V電源を併用することにより、50Aから150Aの大出力が出せる画期的な電子ウェルダーです。
- 持運びに便利な小型軽量(18kg)タイプです。又、家庭用電源を利用しますので、エンジンのように騒音や排気ガスの問題ありません。
- 過充電遮断回路により充電が完了すれば自動的に充電回路が切れます。
- ⊕⊖の極転換によりダイヤルで最適電流が取り出せます。

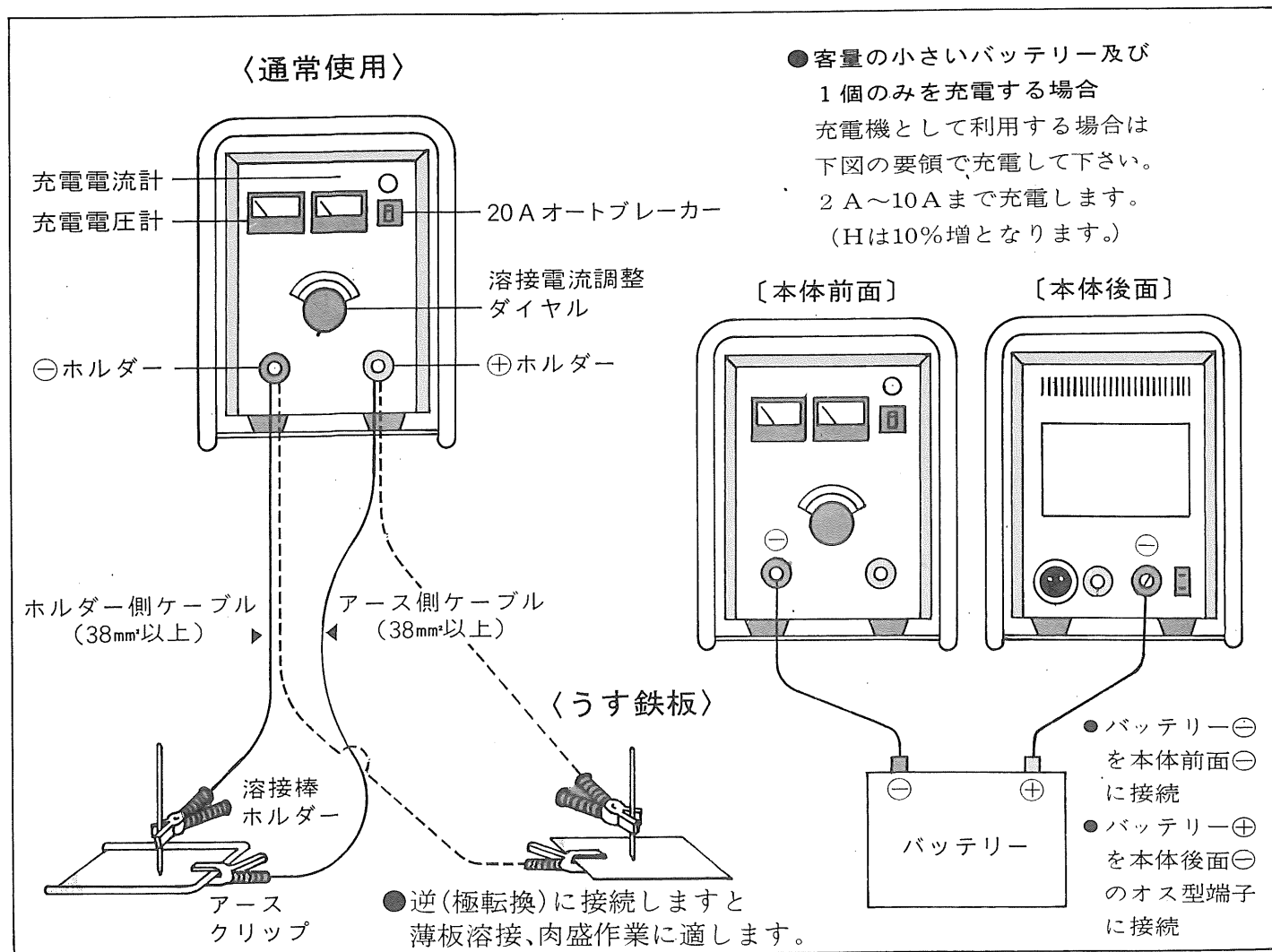
■仕 様

- 1次電圧(周波数) AC100V (50~60Hz)
- 1次入力1.5KVA~2.0KVA ●2次無負荷電圧40V ●充電電流 8A~40A
- 電流調整範囲 50~150A ●使用率50%
- 使用棒径 2mm~3.2mm 重量(本体)18kg

■通常附属品

- HCプラグ 2個
- プラスコード 2m (22mm²) オスプラグ付
- マイナスコード 2m (22mm²) メスプラグ付
- ジャパーコード 30cm×1本 (22mm²)
- ACコード 10m (2mm²) 2Pメタルコンセント・プラグ付

■各部の名称および結線図



■使用方法

- バッテリーの $\oplus\ominus$ を本体後部の接続端子に接続して下さい。
- 後部のAC100V電源を接続して下さい。
- 前面のオートブレーカー(20A)のスイッチを「ON」に入れます。
底部の冷却ファンが作動することを確認して下さい。
「ON」に入れると同時に充電が開始されます。

- 充電が終了すると過充電遮断回路が働き充電が停止されますが、充電電流計が10A前後になれば略充電完了時点になっていますので電源を切ってもさしつかえありません。

※入力側電圧100Vが低い場合は過充電遮断回路がおそく働きます。

(電源電圧の降下にご注意下さい。)

- 結線図の要領に従い溶接をします。
12V・N-120のバッテリーで連続使用が可能です。

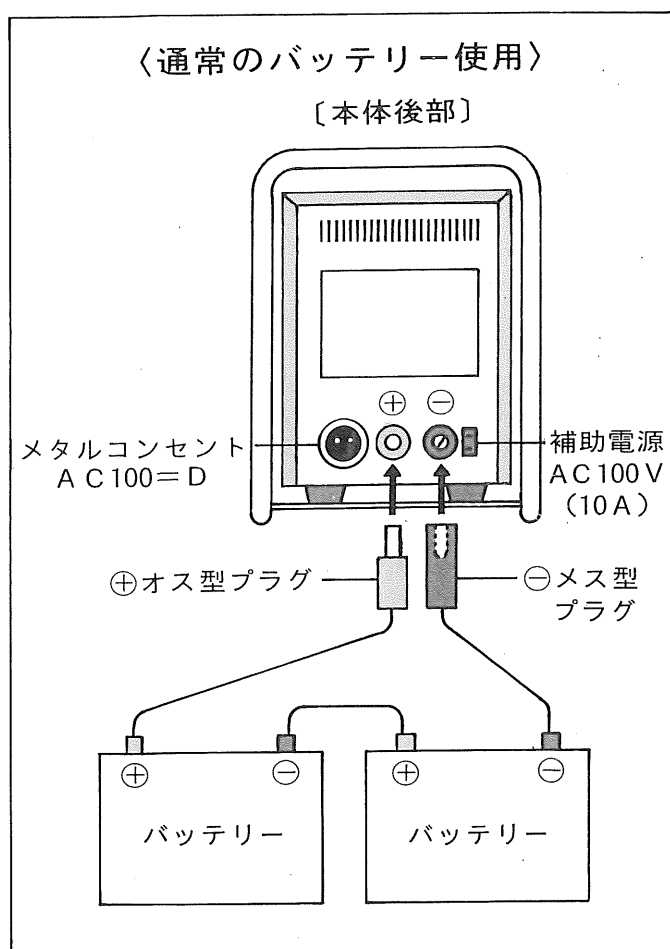
(3.2ミリ棒・電流120A平均時)約70%放電

- 使用溶接棒と目盛位置

※調整目盛の数字が高くなるほど急激に電流が上ります。

〔注 意〕

※機械本体とバッテリー接続の際は $\oplus\ominus$ を絶対に間違えないよう接続下さい。



※4ミリ棒使用の際はイルミナイト系の溶接棒をご使用下さい。

使用棒径	目盛位置	バッテリー	電源 オートブレーカー	電流値
2.6ミリ	②～③	12V・2個	15Aブレーカー	80A～100A
3.2ミリ	③～④	12V・2個	目盛③まで15Aブレーカー 目盛④以上20Aブレーカー	90A～130A
4ミリ	⑤	12V・2個	20A～30Aブレーカー	100A～150A

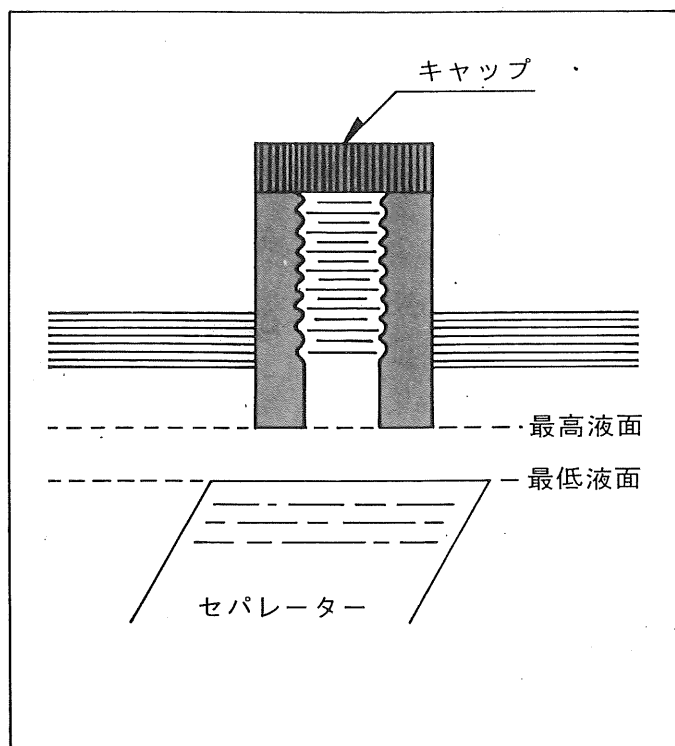
- 放電中、充電電圧計が17V程度に下がったら、バッテリーの放電深度が約70%近くになっています。

使用を一時停止して、再度充電バッテリーの能力を回復させて下さい。

※放電深度を深くするとバッテリーの寿命を縮めますので、早めに充電をされることをお勧めします。

■ バッテリー取扱上のご注意

- 常にバッテリーの液面チェックをして下さい。
(インジケーター迄の液面を保持して下さい。)
蒸発により液面が低下したら蒸留水で補充して下さい。



- 比重測定をして下さい。
放電するに従い電解液比重が下がります。
バッテリーの比重、放電量、残存容量の関係は表の通りです。

比重(20℃)	放電量(%)	残存容量(%)
1,260	0	100
1,210	25	75
1,160	50	50
1,110	75	25
1,060	100	0

- 火気に注意して下さい。
充電中バッテリーより水素、酸素の混合ガスが発生します。
引火の恐れがありますので、安全のため溶接はバッテリーから3メートル以上離れて実施下さい。
グラインダーの火花がある場合は、カバーをされるか防爆キャップをされると安全です。
- バッテリー端子はスパナ等で矩絡させないで下さい。

検査合格書

この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

組立	検査	出庫

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため、お断りなく製品仕様が変わる事があります。